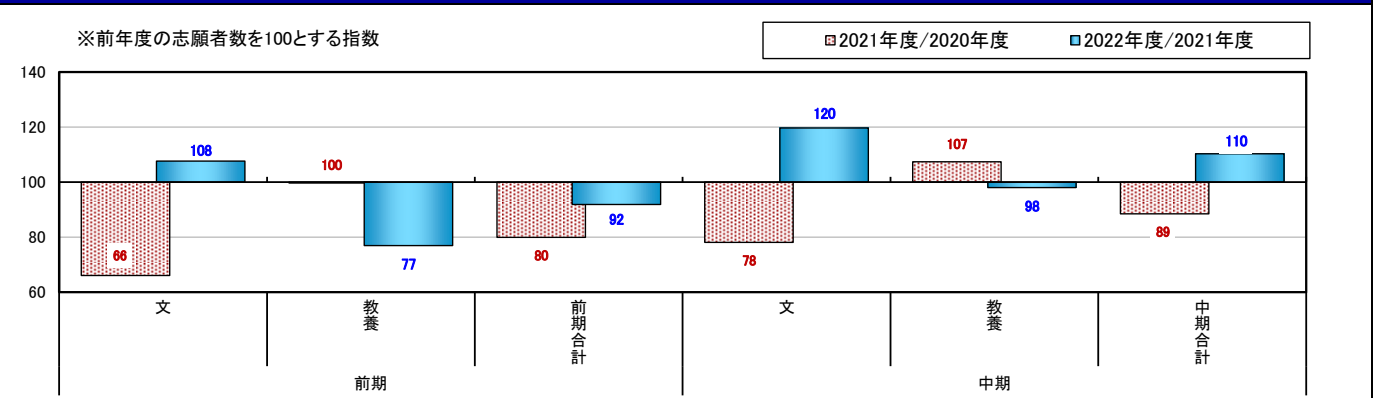


都留文科大：前期は3年連続減少、中期は改組後初めての増加 前期：-44人 中期：+233人



主な入試変更点 共通テスト：文(比較文化)…<前><中>外+{国 or 歴公 or 数 or (理・理基2)}→2
 →歴公+外+{国 or 数 or (理・理基2)}
 教養(地域社会)…<前>歴公+{国 or 歴公 or 数 or (理・理基2) or 外}→2
 →歴公+外+{国 or 歴公 or 数 or (理・理基2)}

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は44人(92)の減少で3年連続減少。設置学部の系統への人気低下に加え、個別試験を課さないため共通テストの平均点ダウンの影響を受けた。一方で、個別試験を課す中期は233人(110)の増加で、2018年度の学部新設・改組以降では初めての増加。

<前期日程>
 ○文(108)は、2年連続大幅減少の反動で増加。学科別では、(比較文化)(149)は、共通テストの歴公が選択から必須となり負担増だが影響はなく、大幅増加で前年度の反動による増減が継続。(英文)(136)は、2年連続大幅減少の反動で大幅増加。(国際教育)(55)は、留学必須のためコロナ禍による海外渡航制限の影響を受けて、2年連続大幅減少。
 ○教養(77)は、前年度の微減に引き続き大幅減少。学科別では、(地域社会)(55)は大幅減少。前年度激増の反動に加え、共通テストの英語が選択から2020年度以前同様に再び必須科目になったことも影響。一方で、(学校教育)(131)は前年度半減以下の反動で大幅増加。

<中期日程>
 ○文(120)は、大幅増加で3年ぶりに増加。国公立大志向の高まりの中、中期日程で受験機会を増やそうという積極的な出願が見られた。学科別では、(英文)(172)は2年連続大幅減少の反動もあり激増、(国文)(111)、(比較文化)(110)は増加。一方で、(国際教育)(69)は留学必須のためコロナ禍による海外渡航制限の影響を受けて、2年連続大幅減少。志願者数は、2017年度新設以降で初めて100人を下回った。
 ○教養(98)は、微減で前年度3年ぶり増加に転じたが再び減少。学科別では、(地域社会)(88)は減少、(学校教育)(108)は増加で、いずれも前年度の反動。